

キャラクター名

プレイヤー名 —————

シンドローム	エンジェルハイロウ ブラックドッグ	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	大学生
		年齢	21	性別	男
オプショナル					
覚醒	犠牲	衝動	破壊	初期侵食率	32
出自	兄妹	経験	永劫の別れ	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	1	0			3	行動値	14
感覚	4	0	2			6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	0	0	1			1	全力移動	38

肉体			感覺			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	5		R C			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
リニアキャノン	射撃	6r+5	8	8		ドッジ判定-2d
コンボ100↓	射撃	8r+5	8	8		ドッジ判定-2d 装甲無視
コンボ100↑	射撃	8r+5	8	23		ドッジ判定-2d 装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タクス	消費
雷帝	P	N		
可児 希来里	P 純愛	N		
設楽 将人	P 親近感	N 不信感		
高梨 英信	P 信頼	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

僕は今両親と3人で暮らしている。  
僕にはかつて「可兒 希来里」という妹がいた。兄であった僕は妹にやや特別な感情を抱いていた。何か少しでも困っていれば、僕は彼女を助けたい。妹を守りたい。その感情は行動で彼女にアピールしていた。

そんなある日のこと、僕は妹と二人で留守番をしていた。  
日も傾いた頃、そんな我が家に来客が訪れた。妹が出てくるといって玄関の扉を開けたとき、郵便局員と名乗った男は彼女と目を合わせるやいなや手に持つ刃物で彼女を漸溝刺しにしたのだ。彼女が放つ断末魔が家中に響き渡り、明らかな異常を感じ取った僕は、急いで彼女の様子を見に行った。  
玄関に着き僕が目にしたのは、夥しい量の血を流し倒れている妹と、血の付いた刃物を持ち、薄ら笑いを浮かべながら妹を刺し続けている一人の男であった。  
男はそんな僕には一聲もせず彼女を刺し、続いている。

もつやのくれ。ふむるな

気が付くと男は跡形も無くなってしまっており、無残な姿で倒れている妹と僕だけがそこにいた。妹は完全に死んでしまった。死んでしまった妹の死を、僕は許さない。

しばらくして僕はIGNと言われる組織に保護されることになった

僕はこの組織に所属し、すべての人を護る。大切な人を失ったときに受ける悲しみは計り知れない。その悲しみを知っている僕が同じ境遇に遭う人を生み出さないように…

それが僕の戦う「理由」である。